

寄

五年

画数 11
筆順

寄 寄 寄 寄 寄
よりの二せる

成り立ち

「大いに可」ということで「めずらしい」意味の「奇」と「く」とを組み合わせて作った字です。「めずらしい家」ということで、「家」に「人がよりつく」という意味を表した字です。人が「身をよせる」ことです。例寄食、寄宿（舎）。

「物をよせる（おくる）」こと。例寄贈、寄附、寄進。
また、「立ちよる」こと。例寄港。

便い方

▼わたしのおかあさんは、学生時代に寄宿舎に入っていたそうです。寄宿舎の食事は大変おいしくて、四キロも太ってしまったそうです。

▼ぼくの学校の図書館には、先輩から寄贈された文庫があります。ぼくも、いつか、読み終えた本を学校の図書館に寄附するほど、たくさんの本を読みたいと思います。

熟語例

▼寄食（他人の家に身を寄せて、生活すること。居候をすることです。「昔、おじさんの家で寄食生活をおくっていたことがある」などと、つかいます。）

▼寄宿（「寄食」と同じ意味ですが、とくに生徒や社員などが、宿舎に住んで生活する時に、つかいます。そのための建物を「寄宿舎」といいます。）

▼寄贈（人に物を贈ること。「きそう」とも読みます。）

▼寄附（公のためや事業のためなどに、お金や物を贈ること。「寄付」とも書きます。）

▼寄進（お寺などに、寄附すること。）

規

五年

画数 11
筆順

規 規 規 規 規
夫 相規

成り立ち

円形をえがくのに使うコンパスの形を表した「夫」と「見」とを組み合わせて作った字です。

「夫」だけでは、コンパスか、「夫婦」の「夫」か、区別がつかないので、「円」をえがく器」ということで、「キ十エン二ケン」ということで、「見」を加えたものです。例規矩。

円をえがくのにもどうしても必要なものだから、「人間にどうしても必要な「きまり」の意味にも使われるようになりまし。例規約、規則、規律。

五年

六八〇

便い方

▼団体生活では、規律が大切です。規律を守らないと、秩序が乱れてしまいます。秩序が乱れると、団体生活はどうしてもうまく行きません。規則にしたがった生活をするのが、団体生活を上手におくる上では大事なことです。

▼JISというマークを知っていますか。これは「日本工業規格」の略号です。このマークのある品物は、定められた規格になつていてという、保証の印です。

熟語例

▼規矩（コンパスとものさし。そこから、物事の基準になる手本、という意味になりました。）

▼規約（団体や会などで、約束して定めた規則）

▼規則（きまり。ある事をするのに、そのよりどころとなるもの）

▼規律（生活をきちんとするために定めた規則。「紀律」とも書きます。）

▼規格（標準としてのきまり。とくに、工業製品の品質について定めた標準をいいます。「この製品は規格にはずれているので、売り物にならない」など）

五年

六八一